

【教育目標】 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに



中野だより

平成30年 7月19日 発行 第4号 発行者:中野区立中野中学校

「演じる」ということ

サッカーW杯ロシア大会は、フランスが優勝して幕を閉じた。日本代表チームは2大会ぶり3回目のベスト16入りを果たし、決勝トーナメントに進出した。その1回戦でベルギーと壮絶な試合を繰り広げたものの、ロスタイムで決勝ゴールを決められ、初のベスト8進出の夢は断たれた。

ベルギー戦後、8年間に渡って日本代表チームの主将を務めた長谷部選手は代表引退を表明した。彼は誰もが認める稀代のリーダーだが、以前は自分勝手なやんちゃ坊主であった。高校時代に彼を主将にという声は上がらなかった。そんな彼が大きく変わったのは、2010年のW杯南アフリカ大会の直前に主将を託されてから。以後、彼は日本代表チームの主将に相応しくあろうと、チーム内での立ち振る舞いはもとより、普段の言動や身だしなみに関して自分で理想像を描き、それを演じた。



ウィキペディアより

長谷部選手は、引退を表明したインスタグラムの最後をこう綴っている。

「これからは僕も日本代表チームのサポーターです。一緒に日本代表チームに夢を見て行きましょう」

ある新聞は、「最初は演じることから始まった『日本の主将』が、8年のときを経て、最後は骨の髄まで染みついていて」と述べていた。

演じると言えば、長い間、高座で八つさんや熊さん、与太郎などを演じ、テレビの「笑点」では司会者を演じた落語家桂歌丸師匠が亡くなった。

歌丸師匠は、晩年、体調がすぐれず入退院を繰り返すようになって、落語への探究心を失わず、稽古に励み、呼吸器をつけて高座をこなした。彼をよく知る落語家はその姿勢を“芸の鬼”と称した。

あるとき、雑誌のインタビューで座右の銘を問われた師匠は、「褒める人は敵と思え、注意してくれる人は味方と思え」と答えていた。人は褒められると嬉しくなって、そこで成長が止まる。褒めることは根っこを断ち切ることと同じ。一方、注意をしてくれる人は根に水や肥料を与えてくれる人である。このことは後進にもよく言っている、と述べていた。

落語の世界に足を踏み入れた頃、恩師からの「舞台に出てきた時の拍手よりも、終わって下がる時の拍手が大きくなければダメだ」という教えがずっと胸に刻まれていたという歌丸師匠——。最後まで落語を演じ、日本中のファンから拍手喝采を受け、落語家桂歌丸の人生の幕を下ろした。

長谷部キャプテンと歌丸師匠は全く違う人生を歩んできたのだが、自分の使命を精一杯演じきったこと、そして、多くの人から愛され、慕われ、惜しまれながら自身のステージを降りたことは間違いなく共通している。

明後日から夏休み。

中野中生もそれぞれ違う夏休みを過ごすことになる。自分の使命を精一杯演じ、納得のいく、最高の夏休みを過ごしてほしいと思っている。

修学旅行終える

6月27日(水)～29日(金)、2泊3日で修学旅行が実施された。

初日、予定より10分早く東京駅集合完了。新幹線では男女仲良くゲームやおしゃべりをして楽しく過ごす。京都駅からバスで奈良に入り昼食。その後、奈良公園内を班行動し、初めて見る鹿と時間の経過を忘れて戯れる班が続出!? その後西ノ京薬師寺に移動し、お坊さんの法話(軽妙なおしゃべり?)に聞き入り、多くのことを学ぶ。

2日目は京都市内班行動。シルバーガイドさんが各班のお供をして名所旧跡の説明。蒸し暑い中、体調を崩す生徒もなく、全班が定刻に宿舎到着。ガイドさんから「とても良い生徒さん」とのお褒めの言葉をいただく。夕食後には能体験に出かけ、古典芸術を堪能する。後日、能楽堂より次頁の内容の絵葉書が届く。

3日目は京都市内タクシー班行動。開始時は小雨模様だったが、徐々に天候は回復。タクシーの運転手さんの案内で市内を回り、1000年の都の京都を満喫。

このように3年生は奈良・京都の歴史的遺産や事実を現地で「見る」「聞く」「触る」「歩く」「味わう」という実体験を通し学び感じ取った。今回の修学旅行が、3年生一人ひとりの記憶の中にしっかり刻みこまれ、これから何年、何十年経過しようとも色あせることなく素敵な思い出として輝き続けることを願って止まない。

先日発行された3学年便りに掲載された生徒感想文を紹介しておきたい。

「私はこの三日間で新しい発見がたくさんありました。何事も自分の目で見て確かめることの大切さや、周囲の人への感謝の気持ちなどこれからも大切にしていきたいです。そして高校選びや将来のことも、自分の目で見て確かめ、自ら行動していきたいです。」





中野中学校様

梅雨の蒸し暑い一日となりました。
先日は「能楽おもしろ講座」ご利用いただきありがとうございました。
ございました。
生徒の皆様の話聞く参加する様子、能を観ている真
剣な眼差し、拍手や正座しての挨拶に昨年に引き続き良
い学校だなあと実感しました。
能の中の日本の良さを感じ前へ進んでほしいと願っ
ています。

河村能楽堂

食育週間

6月25日(月)～28日(木)「食育週間」を設定し、生涯にわたって健康的な生活を送るために食事の大切さと望ましい食生活のあり方を理解し、自らの食生活を管理する能力を育成する一助とした。

期間中、1年生は日替わりでランチルームを使用し、栄養士の指導を受けながら、仲間と一緒に摂る食事の楽しさを実感しながら給食についての理解を深めた。

また、最終日にはPTA主催による給食試食会も実施され、参加された多くの保護者の方が1食322円の給食の有り難さとおいしさを実感した。



<表彰> 中野区中学校総合体育大会

○卓球

- ・男子団体 第2位
- ・女子団体 優勝
- ・男子シングルス 古谷(元)(5位)、古谷(直)(5位)、南雲(9位)
柏村(17位)
- ・女子シングルス 岸(1位)、奈須(2位)、森(9位)

○バドミントン部

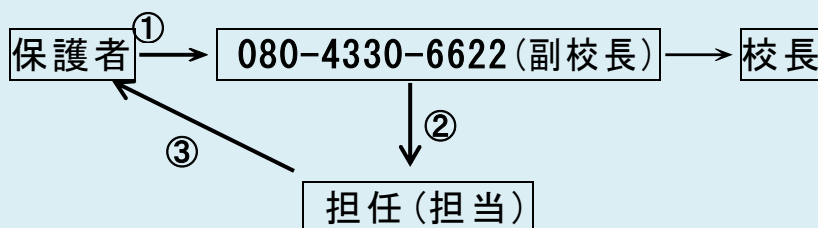
- ・女子団体 第2位

教育活動休止日の緊急連絡方法について

8月11日(土)から15日(水)までの5日間は教育活動休止日となり、学校には教職員は不在となります。

この期間、教職員へ緊急の連絡を必要とする場合は、以下のように対応されますようお願いいたします。

ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



連絡がつかない場合の緊急連絡先

①防犯・安全関係

- ・野方警察署
03-3386-0110
- ・中野警察署
03-5342-0110

②教育相談関係

- ・区教育センター
03-3386-9313

③その他

- ・区教委指導室
03-3228-5589